

To Club Presidents and Secretaries
in district 2710 (Copy to Members)



Governor's Monthly Letter

from Leiji Onoki

ガバナー月信に託す私の思い

preface



国際ロータリー第2710地区
2012～2013年度ガバナー

大木 穂 二

Seiji Ohnoki
GOVERNOR

ガバナー月信
補足情報 配信中
<http://ri2710.com/>

※サイン及び地区スローガンは
大の木ガバナー直筆です。

いよいよ
愈々私の担当年度となり、毎月ガバナー月信に寄稿することになります。ガバナー月信に期待される機能は多種多様で何れも貴重なもの許りですが、機能以前に私が月信担当者をお願いしたことは、先ず誰にでも気安く手に取って貰い気楽にページをめくって貰える雰囲気、紙面づくりに意を用いて欲しいということでした。私達ロータリアンは奉仕の理想を目指して共に前進する友人でありますから、友から友への私信に近い寛いだ広報紙になれば、私としてはこんなに嬉しいことはありません。

機能の中で最も大事なことは、私、ガバナーのロータリーに懸ける想いを伝えることと、多岐に亘るロータリー情報の迅速な提供ではないでしょうか。不肖私の信条を「もっとロータリーを！心と行動に」としましたが、これはロータリーの学習を深化して真のロータリアンになるよう呼び掛けたもので、その為の勉強材料の提供も月信の役目です。皆さんに愛され歓迎される月信をお届けできるよう努力しますので、皆様方には十分なるご活用を賜りますようお願いして挨拶と致します。

ポールハリス語録



ロータリアンは私によく尋ねます。「あなたがロータリーを創始したとき、このようなものになったと思いましたが?」。いいえ、1905年には、6,000のクラブと300,000人の会員を擁する世界的運動になろうとは予想していませんでした。早春のころ、あまり大きくならない若木を植えるとき、人はいつの日かそれが、亭亭たる大木に育つであろうと確信できました。それは雨と太陽...神の摂理の微笑を待たなければならぬのではないのでしょうか。若葉が初めてもえいでるのを見るとき、そのときこそ、人は大いなる木陰で夢見ることができるのです。

- | | | |
|----------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| ◆ ガバナープロフィール・・・P2 | ◆ 今後の研修予定・・・P5 | ◆ ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項・・・P10 |
| ◆ ガバナーメッセージ・・・P2 | ◆ 直前ガバナー挨拶・・・P6 | ◆ 地区関係資金・収支予算書 等・・・P11 |
| ◆ RI テーマと地区運営方針・・・P3 | ◆ 直前年度役員への御礼・・・P6 | ◆ 公式訪問 諸行事予定表 (7月～12月)・・・P12-13 |
| ◆ RI 会長挨拶・・・P4 | ◆ 地区代表幹事挨拶・・・P7 | ◆ ガバナー補佐紹介・・・P14 |
| ◆ RI 会長プロフィール・・・P4 | ◆ 2012-13年度ロータリー世界平和フォーラム・・・P7 | ◆ 会長・幹事さんへのお願い・・・P15 |
| ◆ 研修リーダーとして・・・P5 | ◆ 地区組織図・・・P8-9 | ◆ 文庫通信・・・P16 |



RI 第 2710 地区 2012-13 年度 ガバナー略歴

Governor's Profile

大木 孝 二 (おおのき せいじ)

生年月日●1934年9月3日
 所属クラブ●呉ロータリークラブ
 職業分類●木造建物販売
 学歴●慶応義塾大学 経済学部 卒業
 職歴●(株)大之木ダイモ 相談役
 関連会社：大之木建設(株) 大栄地所(株)
 新栄不動産(株) 呉質倉庫運輸(株)
 主公職●(元)広島県教育委員長
 (現)財団法人文化振興財団 理事長



ロータリー歴●
 1979年8月23日 呉ロータリークラブ入会
 1986～87年度 幹事
 1992～93年度 会長
 1998～99年度 分区代理(第5分区)
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ベネファクター 米山功労者(3回)

「平和」そして「人づくり」

Governor's Message

私は PETS において、いまロータリーはトリレンマ(トリプルジレンマ)に呻吟していると申しました。その一つは、「ロータリーが拠って立つデモクラシーの衰退」、二つ目は、「恒常的な会員減少」、そして三つ目が、「依然として低迷するロータリーの公共イメージと認知度」ですが、此の三つは相互に関連する同根の問題でもあります。

ロータリーは 20 世紀初頭、デモクラシー社会の中で生れデモクラシーの中で育った、言わばデモクラシーの申し子であります。肝心のデモクラシーが世界の政治経済情勢を瞥見する迄もなく、グローバル化の進展もあって大きな曲がり角に立っていることは否めません。本年 1 月末のダボス会議においても、出席者の共通認識を得たことは記憶に新しいところです。デモクラシーの退潮は、先進諸国における中間層(ロータリーの支持層)の縮小が格差の拡大を捉し、此の事実が会員減少の引き金となって、真摯にロータリーを学ぼうとする気風の薄弱化を招きました。会員減少の中皮肉なことに、自らの言葉でロータリーが語れない会員のみが増加し、その結果は幾ら認知度の向上に声を枯らしても一向に返ってこない反響の虚しさに、私達は只々呆然と立ち尽くすばかりの現状です。

その矢先、2012 年～13 年度 RI テーマ「奉仕を通じて平和を」"Peace through" が示されたことは、平和の実現こそが新しいデモクラシー再構築に向けたキーワードであり、ロータリーの絶対的な存立基盤の強化に繋がるものとして、大いに共感できるであります。つまりトリレンマ対応の上で力強い追い風になると思うからです。

ロータリーの平和の原点は、ポール・ハリスがロータリーの創設を思い立った彼の故郷、ニューイングランドのウォリングフォードにあると私は考えています。そこでは寛容と善意と忍耐と奉仕の精神に満ちた人々が、信頼と隣人愛の絆で結ばれて心豊かに暮らしていました。正にその状況こそが平和の原風景ではないでしょうか。ポール・ハリスは殺伐としたシカゴの街に彼の故郷の再現を願ったのが、ロータリー誕生の動機であったことはご承知の通りです。

従って平和は人と人との間柄を良くすることが起点でありますから、常に他人を思い遣る最高の境地とされる「超我の奉仕」が、平和をもたらす不可欠の原動力と考えるべきでありましょう。デモクラシー

は個人の自由と多様性を尊重し、人々の連繋を強めることで幸せな社会の構築を目指す体制作りですから、その修復に欠かせないのが平和であると言っても過言ではありません。私達は平和をごく身近なものとする思考のもと、心安まる家庭の平和、近隣の平和、地域社会の平和、国家の平和、そして世界の平和へと連動した発想を基本とするなら、一見迂遠とも思える平和ではありますが、如何なる切り口からでも取り組める身近な命題と言えるのです。

ロータリーは「人づくり」と言われます。クラブは如何なる人を作り出したかによって評価されます。我国の偉大なロータリアン佐藤千寿先生は、「作る」は創造ではなく cultivate であり、ロータリー運動は文化と平和の耕作作業だと言われました。ロータリー会員という土壌にロータリー精神という肥料を施して耕し、もって文化の花、平和の果実を得ようとするのがロータリーであると説かれたのであります。

私はガバナー信条として、「もっとロータリーを！心と行動に」を掲げさせて頂きました。その意図するところは、先述の如くロータリーを語れない会員の増加に鑑み、もっとロータリーを学んで真のロータリアンと自他共に認められる域に迄、私達一人一人を高め合おうではないかという呼び掛けにあります。此の儘だと会員の弱体化が自壊作用を起こし、やがてはロータリーを衰退に導くのではないかと、多くの心あるロータリアンは危惧している筈です。

ロータリーの原理原則を知り、運動の歴史を学び、実践への関心を高めれば、必ずやロータリーに対する認識が変わります。ロータリーは学べば学ぶ程、知れば知る程、拘れば拘る程自分を磨いてくれて、見失っていたロータリーの魅力を教えてくれます。言う迄もなくロータリーの会員は資質的には高いレベルの人々であって、入会の動機は様々でも心中何かを求めてロータリーの扉を叩いたに違いありません。

地区は善なる動機の会員に水を与え肥料を施して、彼等の中にロータリー精神を発芽させ育成に注力する責任があります。地区内を 3 ブロックに分け入会歴 5 年未満の会員を対象にしたセミナーを開催し、パストガバナーの講師によるロータリーの基本論を学習する機会を設けます。運営はガバナー補佐及び地区担当委員会、近隣クラブのクラブ研修リーダーの皆さん方にお願いする自前の行事ではありま

すが、内容的にはかなり次元の高いものにして、関係者のご期待に応えたいものと念じています。

「職業奉仕を強調したロータリーの認知度向上プロジェクト」の推進は、やや抽象的な命題ではありますが是非共一つのきっかけを掴み、キャンペーンの方向性を定めた重点方針の一つです。私はロータリーの認知度向上の最も効果的且つ現実的対処法は、日夜地域社会の人々と接触しているロータリアンの言動の中にこそあると信じます。ロータリーの何たるかを知らしめ実感させる要諦は、ありの儘の私達自身を見せることを描いてありません。他の模

範となり尊敬を受けるような日常の生活姿勢に徹し、その人柄に触れるだけで無言の説得となるような我が身を示すことです。

真のロータリアンとは、職業奉仕を学び身をもって実践するロータリー会員を言います。このプロジェクト始動の第一歩は、認知度向上の中核は他ならぬ自分自身であるとの自覚に徹し、職業奉仕を自分の言葉で語り且つ職業倫理を実践して、自分こそがロータリーだと公言できるよう厳しい自己研鑽に努めることの意義を、愚直に語り続けて行くことかも知れません。

■ 2012-13 年度 RI テーマと地区運営方針

「奉仕を通じて平和を／Peace Through Service」

◇「平和」とは：

- ・人を助けること
- ・発言と選択の自由の保証、自己決定の権利の尊重、安全で安心できる未来の展望、安定した社会における人生と家庭の確立
- ・幸福感や心の平穏、静けさ
- ・お互いを理解しあう友情と寛容の拡大

◇「奉仕」は「超我の奉仕」：

- ・利己ではなく利他を重視し社会全体の為になるよう献身
- ・人は助け合うことで生きることができ、全ての人の人生が豊かで有意義なものになることで平和の実現に繋がる

■ 田中作次 RI 会長強調事項

1. RI 戦略計画の目標と優先項目の更なる推進

- ◇クラブのサポートを強化
- ◇人道的奉仕の重点化と増加
- ◇公共イメージと認知度の向上

2. 「ロータリー世界平和フォーラム」の開催と成功

- ◇ベルリン：「国境のない平和」
2012 年 11 月 30 日(金)～12 月 1 日(土)
- ◇ホノルル：「平和にいたる緑の道」
2013 年 1 月 25 日(金)～27 日(日)
- ◇広島：「平和はあなたから始まる」
2013 年 5 月 17 日(金)～18 日(土)

3. 地区とクラブにおける平和活動

- ◇クラブや地区で平和フォーラム開催
 - ・2 月 23 日フォーラム開催を検討
 - ・ロータリー世界平和フォーラムの日程に合わせた同一テーマ行事の実施
 - ・紛争原因を取り上げたプロジェクトの遂行
- ◇ロータリー平和フェローの推薦
- ◇海外ロータリークラブとの友好促進

■ 地区ガバナー信条及び運営重点方針と目標

1. ガバナー信条：「もっとロータリーを！心と行動に」

- ◇「ロータリーはロータリークラブである」ロータリー運動の進展は、会員 1 人 1 人のパワーが基本である。
- ◇ロータリーを学び身につけることで自己改善を行い、より高質の人間形成に努める
- ◇ロータリアンになることがより良い生き方につながり、実践を通じて多くの人に喜んでもらえる幸せを実感する
- ◇人としてこの素晴らしい体験ができる権利を多くの人と分かち合う為、入会を勧誘する

2. 運営重点方針：

- ◇ロータリーの学習深化—グループ合同会員研修

セミナーの開催

◇「職業奉仕を強調したロータリーの認知度向上プロジェクト」の推進

- ◇「未来の夢計画」実施への円滑移行
- ◇新しい視点と発想による更なる会員増強
- ◇「学びの場」としての地区大会
- ◇コスト管理の強化
- ◇東日本被災地域への継続支援
- ◇ロータリー世界平和フォーラムの協力支援

RI ホームページ http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/900b_jal2.pdf

3. 目標

- ◇会員増強・維持：3%純増（今後 3 年間毎年）
- ◇RI 会長賞及び会長チャレンジ
 - ・3 つのカテゴリー（クラブ強化・奉仕の増加・クラブ公共イメージ向上）
 - ・会長チャレンジ（クラブ・地域社会における平和フォーラムの開催）

RI ホームページ 会長賞 http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/900a_jal2.pdf

◇ロータリー財団支援

- ・年次寄付 120 ドル／人 以上
- ・恒久基金 ベネファクター 1 人以上
- ・ロータリーカードの協力 各クラブ担当者の決定

◇米山記念奨学会支援 16,000 円／人 以上

◇RI 人頭分担金 52 ドル／人

◇地区関係負担金 24,500 円／人

◇RI 広報補助金の活用

■ 地区内主要行事

◇地区指導者育成セミナー

2012 年 8 月 26 日(日) ホテルグランヴィア広島

◇RYLA ホスト：広島廿日市 RC

2012 年 9 月 22 日(土)～23 日(日)

宮島まことホテル

◇地区大会

- ・10 月 20 日(土) 本会議第 1 日
会長幹事会議……………呉市文化ホール
研修合同セミナー…………クレイトンベイホテル
- ・10 月 21 日(日) 本会議第 2 日
本会議……………呉市文化ホール

◇グループ合同会員研修セミナー

11 月-3 月 地区内 3 ブロック 場所未定

■ 海外関連主要行事

◇RI 第 3690 地区大会（姉妹地区）

2013 年 4 月又は 5 月

◇RI 国際大会

2013 年 6 月 23 日(日)～6 月 26 日(水)

於：ポルトガル リスボン



2012-13 年度テーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

RI President's Message

2012-13 年度国際ロータリー会長 田中 作次

平和という概念は、人によって、文化によって異なります。心の平安や

家族の幸せ、満足感を指す場合もあるでしょうし、人間の基本的ニーズが満たされた安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。

ロータリーにおいて、奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでありませぬ。奉仕とは生き方です。それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み、友好を見出し、平和の道を選ぶことができます。

2012-13 ロータリー年度には、平和が私たちの焦点、そして目標となり、ロータリアンの皆さまには、「奉仕を通じて平和を」もたすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。平和に向けた努力は、すべての人、家族、クラブ、地区、地域、そして国から始まると思います。

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してさらに心を開くことができます。それは、他人を変えようとするのではな

く、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになります。

奉仕を通じて、私たちは、違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになります。感謝の気持ちを持てば、もっと相手を理解でき、あらゆる人の中に善を見出せるようになります。こうした理解を深めることで、他者への尊重の念が高まり、互いに対する尊重の念があれば、人々は平和に暮らすことができると思います。

ロータリーの奉仕は、さまざまなかたちで平和を助長します。私たちは、クラブと地区で、世界中の地域社会に健康、安全、人間の尊厳をもたらすために活動し、競争よりも協力、自分の儲けよりも公益に価値を置こうという気持ちが、私たち一人ひとりの中に生まれます。自分を見つめることを通じて、私たちは、完璧な人間などいないということ、そして誰もが人から何かを学べるということを理解します。

ロータリー独自の標語、「超我の奉仕」は、奉仕の最高のかたちを表しています。このような奉仕こそ、私たちが歩むべき道であると、私は信じています。この道はロータリアンが築いた道であり、世界のすべての人々が歩むことのできる道です。さらに深い思いやり、満足、寛容、理解へといたる道です。「奉仕を通じて平和を」を標榜するなら、私たちは、自分たち、そして世界のために、さらなる平和へ向けて邁進していくことができるでしょう。

RI 会長 田中作次氏 略歴 (埼玉県、八潮 RC)

RI President's Profile

2012-13 年度 国際ロータリー会長
2006-10 年度 ロータリー財団管理委員
2003-05 年度 国際ロータリー理事
1994-95 年度 地区ガバナー

田中作次氏は、株式会社ダイカ会長、全国家庭紙同業界連合会会長、八潮市商工会副会長を務められました。

1975 年に八潮^{やしお}ロータリー・クラブの創立会員としてロータリーに入会して以来、RI 理事、ロータリー財団管理委員のほか、2009 年バーミンガム国際大会委員長をはじめとする各種委員会の委員と委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、地区

ガバナー、研修リーダーを歴任されました。自身が所属する地区では、バングラデシュに学校を建設する活動に献身されました。

RI 超我の奉仕賞およびロータリー財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞された田中氏は、京子夫人とともにポール・ハリス・フェロー、恒久基金ベネファクター、大口寄付者、そしてアーチ・クランフ・ソサエティーのメンバーとなっています。このほかにも、ロータリー平和フェロシップ基金を設立されました。

京子夫人とは 1963 年にご結婚され、現在、埼玉県八潮市にお住まいです。3 人のお子さんと 6 人のお孫さんがいらっしゃいます。



地区研修リーダーとして

パストガバナー 諏訪 昭登

昨年7月に次年度地区研修リーダーに任命され、資格条件にあるように地区

研修リーダーはガバナーあるいはエレクトの指示のもとにあることを十分に認識して任務についております。従来の沿革に基づいて、最も実効性のある型の地区研修委員会を地区幹事の方々を委員として結成し、委員長の立場で大之木ガバナーエレクトの立案される研修計画について助言、支援を継続してきました。勿論すでに完了している地区研修セミナー、PETS& 地区チーム研修セミナー、地区協議会などについては、実施責任を担って活動しました。あと残る主要研修は地区指導者育成セミナーと、進行中のRLIですが、地区運営全般についても継続的支援を行います。

さて、大之木ガバナーエレクトはPETSや地区協議会などで、国際協議会での最終研修の成果を着実に発揮され、日本人3人目の田中作次RI会長のRIテーマ、“Peace Through Service”「奉仕を通じて平和を」と共に地区ガバナーの信条「もっとロータリーを！心と行動に」を熱く語られました。

107年の歴史を誇るロータリーは今、RIとロータリー財団の優先項目と使命を共通のものとして、戦略計画の名のもとで5つの中核となる価値観を基本理念として展開しています。この状況の中でロータリーの基盤たるべき職業奉仕理念を重視しながら、人道的奉仕理念との均衡を保ちつつ、綱領の推進に不断の努力をする、いわゆる日本の香りのする

ロータリーを自覚して、活力ある新時代のロータリーへと進化させていくことが期待されます。それには大之木ガバナーが「ロータリーの学習深化」とその実践を最重点項目とされていることに意を強くしたところであります。1949年の国際協議会以来、その出入口に掲げられている“Enter to Learn, Go Forth to Serve”「入りて学べ、出でて奉仕せよ」の言葉は、ロータリアンへの至言でありましょう。これこそ大之木ガバナーの最重点項目に他なりません。

ロータリーの実践母体はクラブであり、各ロータリアンがそれを担っています。ロータリーには完全平等対等の原則があり、全てのことはこの横型思考で裏打ちされるべきであって、決して縦型思考が作用してはいけません。地区においても、クラブを決して上下関係で認識せず、お互いに真摯かつ率直に語り合う姿勢での協力関係を強く望んでいます。縁あって共にする本年度で、ロータリーに造詣深い大之木ガバナーを友愛と奉仕の心で暖かく、そして精一杯盛り上げて、輝けるフィニッシュを迎えようではありませんか。



2012-13 年度 今後の研修予定

- ・ 8月26日（日） 地区指導者育成セミナー
（会員増強／ロータリー財団 合同）
- ・ 9月2日（日） 第4期RLI-2710 パートⅢ&卒業プログラム



新しい年度に当たり

直前ガバナー 田村 泰三

大之本精二ガバナーのもとに2012-13年度がスタートされます。万全の計画を胸に抱かれ、大きな目標に向かって出航されますことにここからお慶び申し上げます。田中作次RI会長が頂点に立たれる記念すべき年度であり、世界の3都市でロータリー世界平和フォーラムが開催されることにおいても、特筆される年度であることを運命づけられているといえるでしょう。私たちは総力を挙げて支援していきたいと思っております。

前年度は東日本の大災害からの復興元年として、これまで経験しなかったことに挑戦した年でした。地区内の各クラブにおきましても、被災地区のクラブと協力して多くの支援プロジェクトを行っていただきました。復興にはまだまだ多くの時間を必要とし、支援が継続される必要があります。私たちはこれにも全面的に協力していきたいと思っ

ております。

ロータリー財団の大きな改革である「未来の夢計画」に移行するまでの最後の年にもなりました。いままでやや遠い存在のように思っていたロータリー財団が、今後は身近なものになるという大きな変化です。多くの国際的なプロジェクトを考え、財団を利用することはロータリー活動に一層大きな魅力を感じるようになるでしょう。

地区内には多くのロータリアンが国際的な活動をしてられます。このような人達と協力して、さらに多くのロータリアンがロータリー財団を活用されますように、クラブを越えた協力を推進する時期がきたように思います。

新しい年度に当たり、数多くの課題を背負って出航されます大之本精二ガバナーと地区チームの皆さまのご健勝を願い、大きな成果を期待してお祝いの言葉と致します。



田村泰三直前ガバナーと地区役員の皆様への感謝

ガバナー 大之本 精二

同期ガバナーとのメールによる情報交換や諸会合での懇談を通じ、私達の2710地区が如何に良識に溢れ且つ協力と融和の伝統に支えられた素晴らしい地区であるかを思い知るのですが、田村直前ガバナーはロータリーについての深い蘊蓄と卓越した行動力、そして飾り気のないお人柄の故に、当地区固有の此の美風を美事に継承してこられました。

接すれば接する程、語れば語る程その懐の深い人間性には畏敬の念を払わずにはいられず、数々のご指導とご示唆は未熟な私にとって此の上ない貴重な道標となるものでした。

私が特に感銘を深くしたことは、田村さんの不言実行における強靱な意志力であります。昨年ニューオリンズ、今年バンコクと2年連続して、当地区は国際大会の「友愛の広場」へブースを出展、特に今回は来年の「ロータリー世界平和フォーラム」をテー

マにして大きな成果を挙げましたが、中島前地区国際奉仕委員長の両年に互る懸命な応援があったとは言え、設営、立会、撤収に際しての奥様共々のご奮闘は、只々讃嘆あるのみでした。田村さんの巧みな英語を駆使しての来場者に対する説明の傍で、にこやかに茶菓の接待をされる奥様のご協力と共に、微笑ましさの内にも責任者としての厳しい自覚が伺えました。その率先垂範のお姿には敬服あるのみで、私には忘れ得ない無言の教訓となりました。

田村邦夫代表幹事ほかの執行部の皆さんが示された息の合った協力体制も高い評価と敬意に価いするもので、今年度を担当する私達にとっては最高のお手本となるものでした。特にその都度その都度のタイムリーで細やかな温かいご指導とご助言を頂いた田村邦夫代表幹事には衷心からのお礼を申しあげます。有難うございました。



地区代表幹事就任のご挨拶

地区代表幹事 松田 修典

大之木さんがガバナーの指名を受けられた、ノミニー前年の2009年初秋、小さなレストランで昼食を摂りながら、ノミニーとしてこれからすぐ取り掛からなければならない仕事、諸行事、地区委員会構成についての相談を受けました。

この時点ですでに、“代表幹事はお前が”とのお心積りであったと思いますが、私はこの年にして今だ細々ながら、仕事の現役を続けており、与えられた職責を果たすのは難しいとも考えましたが、何とかしてお役に立ちたいとの気持ちで、副代表幹事、幹事、委員の選考をお任せいただき、私なりに最精鋭、最強の委員会構成を作り上げ、皆さんにご苦勞をお願いしお引き受けしたような事でございます。

さて、大之木さんと私は、たまたま父親が呉 RC の創立会員であり、幼少時から高校を出て親元を離れるまで、いつもロータリーを身近に感じながら、ロータリーの中での少年時代を過ごしており、呉 RC 創立とほぼ同時に誕生した地域の油絵の同好会、在呉の団体役員なども一緒、それに高校の先輩後輩

の間柄で長く、親しくお付き合いさせていただいておりました。

それにしても、ガバナーは言うまでもなく、地区幹事、委員の多忙さはよく知っておりました。私共の呉 RC で、大之木ガバナーは1992～93年の真鍋ガバナー以来で、当時を知っている会員は10名位になっております。幸い真鍋 PG もお元気で何かとご苦勞をかけ、ご指導を頂いております。

又これまでは呉東、呉南、江田島 RC の皆様にもご理解、ご協力を頂きノミニー、エレクト年度を終え、いよいよ本番のガバナー年度でございます。PG の皆様、地区内先輩ロータリアンの皆様、各クラブの皆様、特にこれまで色々ご指導を頂いた前田年度、田村年度の委員会の皆様にはこれまでと同様にご支援、ご指導をお願い申し上げます。

又、今では広島に常設された事務局があり、素晴らしいスタッフがおられ、ガバナー誕生の度に、事務局を開設して苦勞し不便をしていた昔を知っている私共は本当に便利になり有難く、感謝の気持ちが一杯であることを書き添えておきます。

2012-13 年度ロータリー世界平和フォーラム

ベルリン（ドイツ）
国境のない平和

2012年11月30日～12月2日

平和を築き、国際理解と協力において人々が相互にかかわり合う機会を推進する上での、民主主義の役割を考察します。国家間の理解を促進する上での国際共同委員会の功績と役割を紹介します。

広島（日本）
平和はあなたから始まる

2013年5月17日・18日

私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進する方法を考察します。未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後（何日、また何年にもわたり）どう貢献していけるかを、参加者に問いかけます。

ホノルル（米国ハワイ）
平和にいたる緑の道

2013年1月25～27日

平和の前提条件として、人類が共有する環境資源の保存と保護、および自然災害の影響の緩和の重要性に焦点を当てます。新世代を中心に、若者たちによる平和のビジョンを育んでいくことに焦点を当てます。





ガバナー指名委員会 委員長 金子 信 委員 諏訪 昭登 委員 岡田 幹矢 委員 前田 茂 委員 田村 泰三			R I 会長 田中 作次 八 潮			ガバナー 大 之 木		
地区諮問委員会 PG 元 RI 理事 松本 卓臣 福 山 PG 白木 邦彦 長 門 PG 真鍋 欣良 吳 PG 林 孝介 下関東 PG 筒井 数三 広島東 PG 天野 肇 福 山 PG 元 RI 理事 南園 義一 防 府 PG 仁田 一也 広島東南 PG 土肥 浩右 西 条 PG 西村 栄時 岩国西 PG 川妻 二郎 広島南 PG 新田 薫 山口南 PG 松本茂太郎 福 山 PG 永富 稔 下関東 PG 岩森 茂 広島北 PG 金子 信 萩 PG 諏訪 昭登 広島西 PG 岡田 幹矢 周南西 PG 前田 茂 三 次 PG 田村 泰三 柳 井 GE 沖田 哲義 下 関 GN 金子 克也 福山南			ガバナーエレクト 沖田 哲義			地区研修リーダー 諏訪 昭登		
			次期研修リーダー			地区研修委員会 地区幹事		
			地区拡大委員会 委員長 岡田 幹矢 委員 前田 茂 委員 田村 泰三			P E T S 地区チーム研修セミナー 地区協議会 地区指導者育成セミナー R L I		
			国際大会推進委員会 委員長 岡田 幹矢			ガバナー補佐 G1 鷺頭 信 長 門 G2 篠原 勝 萩 東 G3 光浦慎太郎 防府北 G4 石丸 秀宣 徳 山 G5 海田 博文 柳井西 G6 鶴野 俊雄 広島東 G7 永井 勝康 広島廿日市 G8 武安 紘二 吳 東 G9 林 克宏 因 島 G10 梶田 千史 福山東 G11 宇田 信士 福山西 G12 安井 雅彦 吉 舎 74RC I M		
			地区表彰 選考委員会 委員長 岡田 幹矢 委員 前田 茂 委員 田村 泰三 委員 沖田 哲義					
			長期計画委員会 委員長 西村 栄時 副委員長 松本茂太郎 カウンセラー 南園 義一 アドバイザー 天野 肇 委員 岩森 茂 委員 金子 信 委員 諏訪 昭登 委員 岡田 幹矢 委員 前田 茂 委員 田村 泰三 委員 大之木精二 委員 沖田 哲義 委員 金子 克也					

クラブ管理運営委員会 カウンセラー 田村 泰三 (全般) 志々田幸治 ② 吳 中村邦四郎 ①長 門 村岡 恭行 ③柳井西	広報委員会 カウンセラー 前田 茂 (全般) 坂田 健治 ② 吳 小松靖之介 ①下関東 廣實 厚夫 ③柳 井	会員組織委員会 カウンセラー 松本茂太郎 (全般) 松浦 秀夫 ② 吳 和田銀一朗 ①油谷湾 市川 英助 ③柳井西
	広報 [IT] 大島 淳稔 ② 吳 福田 維徳 ①下関西 廣實 厚夫 ③柳 井	ロータリー情報 住田 佳樹 ② 吳 室中 俊郎 ①下関西 松田 昭正 ③柳 井
	雑誌 [ロータリーの友] 田中 利幸 ② 吳 喜志永佳和 ①下関中央 西海 俊夫 ③柳井西	

国際ロータリー第 2710 地区 2012-13 年度組織図

ナ	一
精	二

R I 理事	
松宮 剛	茅ヶ崎湘南

地区財務委員会	
カウンセラー	岩森 茂
	大上 功 ②呉
	古田 圭一 ①下関
	富田 稔 ③柳井

地区会計監査	
カウンセラー	仁田 一也

地区会計	
会計長	大上 功

危機管理委員会	
カウンセラー	天野 肇
委員長	田村 泰三
委員	沖田 哲義
委員	金子 克也
委員	危機管理規定による

月信編集委員会	
編集委員長	田中 利幸
副編集委員長	大矢 宏典
編集委員	藤元 康之
編集委員	神田 健治
編集委員	馬場 浩嗣
編集委員	倉本 実
編集委員	原田 知治

地区幹事	
代表幹事	松田 修典 呉
副代表幹事	宇都宮五郎 呉
副代表幹事	田中 利幸 呉
副代表幹事	島村 充 呉
副代表幹事	藤井 清実 呉
副代表幹事	長行事 義人 呉
地区会計長	大上 功 呉
地区幹事	志々田幸治 呉
地区幹事	坂田 健治 呉
地区幹事	大島 淳稔 呉
地区幹事	松浦 秀夫 呉
地区幹事	住田 佳樹 呉
地区幹事	福田多喜二 呉
地区幹事	山村 貞夫 呉
地区幹事	大塩 俊 呉
地区幹事	青山 宏明 呉
地区幹事	上田 功 呉
地区幹事	海生 知亮 呉
地区幹事	平本 禎輝 呉 南
地区幹事	湯澤 俊樹 呉 東
地区幹事	奥先憲太郎 呉 南
地区幹事	登 道夫 呉 東
地区幹事	宇都宮嗣記 呉
地区幹事	伊賀 訓之 徳山東
地区幹事	稲葉 周三 呉

地区事務局運営委員会	
委員長	川妻 二郎
アドバイザー	金子 信
委員	前田 茂
委員	田村 泰三
委員	大之木精二
委員	沖田 哲義
委員	金子 克也
委員	事務局運営規定による

(財)ロータリー米山記念奨学会	
評議員	岡田 幹矢

米山学友会	
会長	島崎 高志 東広島

ロータリー財団学友会	
会長	石神 輝雄

地区大会実行委員会	
大会実行委員長	堀口 勝哉
大会副実行委員長	三宅信一郎
大会副実行委員長	藤井 清実
大会幹事	神垣 和典
大会副幹事	太刀掛祐之
ホストクラブ	呉 RC
コホストクラブ	呉東 RC
	呉南 RC
	江田島 RC
	地区大会

地区事務局	
事務局長	島村 充
事務局員	岡崎 由美
事務局員	布施美佐子
事務局員	世良 恵

奉仕プロジェクト委員会	
(全般) カウンセラー	南園 義一 (職業奉仕・社会奉仕) カウンセラー 西村 栄時
(全般) 島村 充 ② 呉	(新世代奉仕・国際奉仕) カウンセラー 天野 肇
	堀川 国彦 ①下関北
	小野 悟 ③柳井

ロータリー財団委員会	
カウンセラー	川妻 二郎
(全般) 藤井 清実 ② 呉	
倉田 修三 ①下関東	
福田 敏勝 ③柳井	

米山記念奨学会委員会	
カウンセラー	仁田 一也
(全般) 稲葉 周三 ② 呉	
井上 正明 ①下関西	
細田 正躬 ③岩国西	

職業奉仕部会	
大塩 俊 ② 呉	
弘永 裕詞 ①下関	
豊田 清人 ③岩国	

社会奉仕部会 (RCC 等)	
青山 宏明 ② 呉	
山本 修司 ①下関	
藤麻 一三 ③柳井西	
安田 年光 ③岩国中央	

新世代奉仕部会	
上田 功 ② 呉	
木下 稔 ①下関東	
山本 茂男 ③岩国	

国際奉仕部会	
福田多喜二 ② 呉	
畑 敏治 ①下関中央	
八百谷俊昭 ③岩国西	

RYLA・RA	
海生 知亮 ② 呉	
松井 繁之 ①下関北	
重村 正明 ③岩国	

IA (インターアクト)	
平本 禎輝 ②呉 南	
岡田 健 ①下関東	
近藤 穂積 ③柳井	

青少年交換	
山村 貞夫 ② 呉	
上野 宗則 ①下関東	
河本 栄治 ③柳井	

人道的補助金部会 (補助金・ポリオプラス)	
登 道夫 ②呉 東	
倉田 修三 ①下関東	
益本 雄二 ③岩国西	

R 財団夢計画準備委員会	
委員長	伊賀 訓之 徳山東
小田 大治 三 次	
東 日出夫 光	
八百谷俊昭 岩国西	
榎 賢志 東広島	
藤井 清実 呉	
川本 晏聖 福山東	
倉田 修三 下関東	
三宅 浩史 下関中央	
久笠 信雄 広島城南	

財団情報・推進部会 (年次寄付・恒久基金)	
湯澤 俊樹 ②呉 東	
宇都宮嗣記 ② 呉	
三宅 浩史 ①下関中央	
瀬土 照章 ③岩国中央	
河村敬一郎 ③柳井	

財団奨学金・学友部会	
奥先憲太郎 ②呉 南	
中村 義行 ③岩国中央	



国際ロータリー第 2710 地区 2013-14 年度

ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項

高校生の国際的な交換留学を通して、文化交流による世界理解を深めるプログラムです。
心身ともに健全でロータリーの国際親善大使としてふさわしい高校生多数の応募を願っています。

1. 留学先	アメリカ・フランス・カナダ・スウェーデン その他
2. 派遣期間	2013 年 8 月から 1 年間
3. 募集人数	4～5 名
4. 派遣先での生活	受入れロータリークラブの会員家族並びに受入れロータリークラブにより選ばれた家族が滞在期間中のホストファミリーになります。原則として、3ヶ月ごと4家族でそれぞれの家族の一員として生活をともにし、高校に通学します。
5. 派遣期間の費用負担	本人の往復航空正規運賃及び渡航手続き、各種保険料、出発前研修費用等の諸費用及び若干の所持品は自己負担ですが、海外における滞在費と学費は受入側が負担します。こちらに受入れた学生の費用は日本のロータリーの負担です。
6. 応募資格と条件	以下の資格及び条件を満たしていることが必要です。 a) 国際ロータリー第 2710 地区（広島県・山口県）内に居住またはその地区の高校に在学（又は在学予定）し、出発時点で満 19 歳未満の心身ともに健康な男女。 b) 保護者の承認があり、且つ通学する学校長及び区域のロータリークラブ会長の推薦が得られる者（ロータリアンの子弟でも可）。 c) 学業の成績が一定水準以上の者で、海外生活に積極的に参加する意欲のある者。 d) 応募者の通学している高校は、来日交換学生の受入れ高校になることが望ましい。 e) 派遣国の希望には出来るだけ沿うように努力しますが、最終的にはこちらの決定に従って頂きます。
7. 申込方法	a) 同封の「国際ロータリー第 2710 地区ロータリークラブ一覧」をご参照の上、居住区域内のロータリークラブに応募したい旨ご連絡ください。 b) ロータリークラブより応募の許可を受けた後、必要書類（①青少年交換派遣申込書②高等学校長推薦状③その他ロータリークラブより要請のあった書類）を揃え、ロータリークラブへご提出ください。ご提出いただいた書類は、ロータリークラブを経由して国際ロータリー第 2710 地区事務局へ提出されます。 ※高等学校長推薦状には必ず校長先生ご本人様のご署名をいただかれますよう、お願い申し上げます。 ※控えとして申請書類のコピーをお取りください。
8. 応募締切	推薦ロータリークラブ経由で、2012年9月28日（金）までに国際ロータリー第 2710地区事務局へご提出ください。
9. 選考方法	試験内容は、書類選考、英語力テスト、面接（本人及び保護者）で2012年10月28日（日）を予定。
10. 合格発表	試験終了後 2 週間以内に推薦ロータリークラブ会長宛に通知します。
11. 研修会の開催	合格者は出発までに数回の研修会に参加する義務があります。
12. 注意事項	合格者は当地区より受入れ地区に推薦され、相手地区の受入れ保証を得てはじめて正式に地区交換学生として決定されます。また、交換学生の派遣ロータリークラブは同時に受入れ学生の受入れロータリークラブになる義務が生じます。

国際ロータリー第 2710 地区 2012-13 年度 地区関係資金 収支予算書

■ 収入の部	
科目	金額
地区事務局運営関係費	29,920,000
研修関係費	8,840,000
各種委員会奉仕活動費	24,140,000
雑収入	0
RI 補助金	2,700,000
ホストクラブ等補助金	0
小 計①	65,600,000
ガバナー会連絡会議負担金	680,000
ロータリー文庫運営協力金	1,020,000
地区大会分担金	18,700,000
小 計②	20,400,000
合 計 (①+②)	86,000,000

■ 支出の部	
科目	金額
地区事務局運営関係費	32,620,000
研修関係費	8,840,000
各種委員会奉仕活動費	24,140,000
小 計①	65,600,000
ガバナー会連絡会議負担金	680,000
ロータリー文庫運営協力金	1,020,000
地区大会分担金	18,700,000
小 計②	20,400,000
合 計 (①+②)	86,000,000

会員数：3,400 人で試算

地区関係負担金 明細表

	年間 (一人当たり)	前期	後期	備考
地区事務局運営関係費	8,800	4,400	4,400	
研修関係費	2,600	1,300	1,300	
各種委員会奉仕活動費	7,100	3,550	3,550	
ガバナー会連絡会議負担金	200	100	100	
ロータリー文庫運営協力金	300	150	150	
地区大会分担金	5,500	5,500	0	
合 計	24,500	15,000	9,500	

会員数：3,400 人で試算

RI 人頭分担金他 送金明細表

区分	年間 一人当たり	前期 7月送金	後期 1月送金	報告先	送金先
人頭分担金	52ドル	26ドル	26ドル	RI 日本事務局(正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 新宿通支店 (普) 6 7 3 3 2 4 4 名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長 加倉井隆男 TEL：03-3903-3183
規定審議会分担金	1ドル	1ドル	—		
ザ・ロータリアン誌 購読料	24ドル	12ドル	12ドル		
ロータリー 米山記念奨学会	1,000 円以上	500円 以上	500円 以上	R 米山記念奨学会 (正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 京橋支店 (普) 0 9 2 0 3 7 3 名義：(財)ロータリー米山記念奨学会 TEL：03-3434-8681
ロータリーの友 購読料	2,520 円	1,260 円	1,260 円	ロータリーの友 事務所 (正)	三井住友銀行 浜松町支店 (普) 7 4 5 0 0 1 5 名義：一般社団法人ロータリーの友事務所 TEL：03-3436-6651
ロータリー財団 への寄付				RI 日本事務局(正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 赤羽支店 (普) 9 7 8 1 0 1 名義：公益財団法人ロータリー日本財団 TEL：03-3903-3192



2012-13 年度 国際ロータリー第 2710 地区 公式訪問・諸行事予定表 2012 年 7 月～ 12 月

2012 年 7 月	
1 (日)	ガバナー・元・次期ガバナー 懇談会
2 (月)	R 財団地域セミナー
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第 1 回諮問委員会 大之木年度
8 (日)	RA 第 1 回地区協議会
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	広島⑥
18 (水)	広島東⑥
19 (木)	広島西⑦
20 (金)	広島南⑦
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	福山⑩
24 (火)	柳井⑤
25 (水)	徳山東④
26 (木)	西条⑧
27 (金)	岩国西⑤
28 (土)	第 36 回 IA 地区大会 29 日まで
29 (日)	
30 (月)	下関①・防府北③
31 (火)	長門①

2012 年 8 月	
1 (水)	小野田②
2 (木)	萩②
3 (金)	福山北⑪
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	府中⑩
7 (火)	防府③
8 (水)	下関西①
9 (木)	下関東①
10 (金)	広島城南⑦
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	広島東南⑦
21 (火)	周南西④
22 (水)	山口③
23 (木)	広島北⑥
24 (金)	山口南③
25 (土)	
26 (日)	地区指導者育成セミナー(会員増 強/R 財団合同) 大之木年度
27 (月)	東広島 21 ⑧
28 (火)	三原⑨
29 (水)	東城⑫
30 (木)	三次⑫
31 (金)	尾道⑨ 第11回日韓親善会議 9/1まで

2012 年 9 月	
1 (土)	
2 (日)	第4期RLI-2710 パートⅢ&卒後プログラム
3 (月)	三次中央⑫
4 (火)	山口県央・山口中央③
5 (水)	広島空港⑨
6 (木)	呉⑧
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	広島中央⑦
11 (火)	下関北①
12 (水)	宇部東②
13 (木)	宇部②
14 (金)	
15 (土)	
16 (日)	
17 (月)	
18 (火)	福山赤坂⑪
19 (水)	広島陵北⑥
20 (木)	柳井西⑤
21 (金)	下関中央①
22 (土)	RYLA 23 日(日) まで
23 (日)	
24 (月)	光・徳山セントラル④
25 (火)	広島西南⑦
26 (水)	瀬戸田⑨
27 (木)	岩国⑤
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	

2012年10月	
1 (月)	松永⑪・福山丸之内⑩
2 (火)	吉舎⑫
3 (水)	福山東⑩
4 (木)	因島⑨
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	江田島RC創立20周年式典
8 (月)	
9 (火)	萩東・美祢②
10 (水)	油谷湾①
11 (木)	広島安佐⑥
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	広島廿日市⑦
16 (火)	福山西⑪
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	▲ 第2回諮問委員会 大之木年度 地区大会 第1日目 大之木年度 日韓交流パーティ
21 (日)	▼ 地区大会 第2日目 大之木年度
22 (月)	
23 (火)	呉南⑧
24 (水)	呉東⑧
25 (木)	徳山④
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	2013-14 年度青少年 交換派遣学生選考会
29 (月)	
30 (火)	広島安芸⑥
31 (水)	岩国中央⑤

2012年11月	
1 (木)	江田島⑧
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	東広島⑧
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	大竹 RC 創立 50 周年式典
11 (日)	グループ合同セミナー 山口
12 (月)	
13 (火)	鞆の浦⑩
14 (水)	
15 (木)	福山南⑪
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	瀬戸田 RC 創立 45 周年
19 (月)	
20 (火)	宇部西②
21 (水)	
22 (木)	防府南③
23 (金)	
24 (土)	
25 (日)	RA 第2回地区協議会
26 (月)	R 財団地域セミナー
27 (火)	メジャードナー午餐会
28 (水)	ロータリー研究会 29日まで
29 (木)	
30 (金)	

2012年12月	
1 (土)	第5回ガバナー補佐会議 大之木年度
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	尾道東⑨
5 (水)	
6 (木)	竹原⑨
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	山口 RC 創立 60 周年式典
10 (月)	
11 (火)	庄原⑫
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	鈴ヶ峯女子高校 IAC 40 周年式典
16 (日)	
17 (月)	
18 (火)	大竹⑥
19 (水)	
20 (木)	
21 (金)	
22 (土)	第3回諮問委員会 大之木年度
23 (日)	
24 (月)	
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	
31 (月)	



国際ロータリー第2710地区 2012-13年度 ガバナー補佐紹介

Member Introduction

- ① 所属クラブ ② 生年月日 ③ 職業分類 ④ 入会年月日 ⑤ 会長年度
⑥ ポール・ハリス・フェロー（+マルチプル） ⑦ ベネファクター ⑧ 米山功労者



- ① 長門 RC
② 1936/3/27
③ 旅館
④ 1984/10/1
⑤ 1999
-00 年度
⑥ PHF
⑦ -
⑧ -

G1 わし す 驚頭 まこと 信



- ① 萩東 RC
② 1942/7/30
③ 損害保険
④ 1983/8/25
⑤ 2003-04,
07-08 年度
⑥ PHF+2
⑦ ○
⑧ 3 回

G2 しのはら 篠原 まさる 勝



- ① 防府北 RC
② 1944/12/6
③ 味噌製造
④ 1985/6/10
⑤ 2002
-03 年度
⑥ PHF
⑦ -
⑧ 3 回

G3 みつうら 光浦 しん たらう 慎太郎



- ① 徳山 RC
② 1946/11/9
③ 燃料販売
④ 1987/8/13
⑤ 2002
-03 年度
⑥ PHF+1
⑦ -
⑧ 3 回

G4 いしまる 石丸 ひでのぶ 秀宣



- ① 柳井西 RC
② 1950/12/16
③ 損害保険
④ 1991/1/11
⑤ 2006
-07 年度
⑥ PHF+1
⑦ -
⑧ -

G5 かい た 海田 ひろふみ 博文



- ① 広島東 RC
② 1935/8/18
③ プレス工業
④ 1971/2/24
⑤ 2008
-09 年度
⑥ PHF
⑦ ○
⑧ 4 回

G6 う の 鵜野 とし お 俊雄



- ① 広島廿日市 RC
② 1943/9/5
③ 紙器加工
④ 1995/5/8
⑤ 2005
-06 年度
⑥ PHF+5
⑦ -
⑧ 1 回

G7 なが い 永井 かつやす 勝康



- ① 呉東 RC
② 1941/6/17
③ 税理士
④ 1991/1/9
⑤ 2001
-02 年度
⑥ PHF+1
⑦ ○
⑧ 1 回

G8 たけやす 武安 こう し 紘二



- ① 因島 RC
② 1943/11/23
③ 歯科医
④ 1988/12/1
⑤ 2004
-05 年度
⑥ PHF
⑦ ○
⑧ 1 回

G9 はやし 林 かつひろ 克宏



- ① 福山東 RC
② 1946/1/1
③ 歯科医
④ 1984/8/1
⑤ 2004
-05 年度
⑥ PHF+3
⑦ ○
⑧ 2 回

G10 かじ た 梶田 ひろふみ 千史



- ① 福山西 RC
② 1948/6/12
③ 合成樹脂販売
④ 1992/5/12
⑤ 2005
-06 年度
⑥ PHF+1
⑦ ○
⑧ 3 回

G11 う だ 宇田 しん し 信士



- ① 吉舎 RC
② 1942/5/11
③ 郵便事業
④ 1982/4/27
⑤ 1997
-98 年度
⑥ PHF+1
⑦ ○
⑧ 1 回

G12 やす い 安井 まさひろ 雅彦

会長・幹事さんへのお願い

■ 半期報告、人頭分担金

RI事務局、RI日本事務局及び米山記念奨学会、地区事務局への報告や送金は所定通り、确实、速やかにお進めください。

■ 各種報告書

年度を通じ、研修会登録やアンケート等の提出をお願いすることとなりますが、メ切は厳守でお願いいたします。

■ 会員増減・出席率報告

月末会員数及び出席率の報告は毎月26日～翌月14日まで（14日が休日の場合は随時変更あり）に、ホームページ上よりご報告ください。

■ 新会員報告

新会員報告は毎月26日～翌月10日の間に、ホームページ上よりご報告ください。

■ 訃報届

《C》会員訃報届（エクセルデータ）に入力し、写真データ（JPGデータ）を添えて、至急地区事務局へメールにてご連絡ください。やむを得ず紙焼きの場合は、裏面にクラブ名及び氏名を必ず明記し、ご郵送ください。

■ RI日本事務局

会員の入会、退会、変更（職業分類・会員資格・住所など）は必ずその都度RI日本事務局へお知らせください。

■ 重要なお問合せ

間違いが起らないよう、E-mail（info@ri2710.com）にてお問合せください。

■ 緊急連絡

各クラブにおいて緊急の連絡に対応できる態勢を整えておいてください。

■ 特別寄付者

米山記念奨学会及びロータリー財団への特別寄付者については、その都度、至急地区事務局へご報告ください。尚、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー等については回数も同時にご記入をお願い致します。

■ ロータリーの友、ガバナー月信について

ロータリーの友、ガバナー月信の精読を、例会時に強調してください。

■ クラブ週報について

ロータリーの友編集部より、クラブ週報送付の要請がありました。現在友編集部へ送付されているクラブにつきましては、引き続きお願いいたします。送付されていないクラブにつきましては、郵送またはメール（hensyu@rotary-no-tomo.jp）にて、友編集部宛にお願いいたします。送付間隔は週単位、月単位などクラブで自由に決めていただいて結構です。

国際ロータリー第 2710 地区事務局

所在地 〒 732-0822 広島市南区松原町 1 番 5 号 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL : 082-506-0055 FAX : 082-263-2323
E-mail : info@ri2710.com URL : http://ri2710.com/

文庫通信 (297号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿

論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー文庫の資料より(1)

ロータリー広報の王道—組織の構造疲労に就いて	佐藤千壽	名古屋港・東海・名古屋西南R.C. 1997 25p (ロータリーのこころ)
ロータリーの今日的意義と将来	深川純一	広島西R.C. 2001 20p (ロータリー卓話四題)
ロータリーはどこに行くのか	久野 薫	神戸東R.C. 2006 2p (ロータリーを語ろう)
ニコニコ箱は何かを語っているか	久野 薫	神戸東R.C. 2006 2p (ロータリーを語ろう)
会員増強は永遠の課題・・・ヒントは此処に		D2570 2011 3p (会員増強セミナー資料)
国際ロータリー第70区第八年次大会(1936年・神戸)の記録から	浅田光二	米山梅吉記念館 2012 3p (館報Vol.19)
米山先生と和田家のこと	神崎正陳	米山梅吉記念館 2012 5p (館報Vol.19)
[上記申込先:ロータリー文庫]		
ロータリー財団ハンドブック 改訂版	片岡暎子監修	2012 97p

[申込先:川尻政輝 FAX(03)6431-9764]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



海・技・人、水色の歴史回廊『呉』

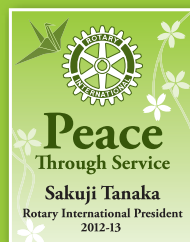
もっとロータリーを！心と行動に 呉 かたり合い 学びあい

2012~2013年度

国際ロータリー
第2710地区



地区大会



10月20日(土)・21日(日)



記念講演

カン サンジュン
姜 尚中氏

【主な著書】

『オリエンタリズムの彼方へ—近代文化批判』、『マックス・ウェーバーと近代』、『ナショナリズムの克服』、『姜尚中の政治学入門』、『日朝関係の克服』、『在日』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『母〜オモミ』など

【略歴】

1950年 熊本県熊本市生まれ
1974年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
1979年 早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了
1996年 ドイツ エアランゲン大学に留学の後、国際基督教大学准教授など
1998年 東京大学社会情報研究所助教授
2004年 東京大学社会情報研究所教授(組織統合に伴い)
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
2010年 東京大学大学院情報学環 現代韓国研究センター長

国際ロータリー第2710地区 地区大会事務局

〒737-8503 呉市中央3丁目8-21 大之木ダイモビル4F
TEL 0823-88-0087 FAX 0823-88-0116
E-mail: 2710taikai@daimo.jp